浜松南高新聞
発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷
浜松共同印刷株式会社

代議制に不審高まる

任期終えた本部

後期生徒会

問題繰り越す

後期生徒会本部は、六カ月の任務を終え新本部へ委任するが、この間に多くの問題を残すことになった。代表的な問題である。この二つの問題は、十一月十三日に行われた生徒総会開催の希望が出ていた。帽子の自由化、生徒会費の値上げ問題である。この二つの問題は、十一月十三日に行われた生徒集会でも議題にあげられ、それ以来、生徒の間で活発に話し合われるようになった。特に帽子の自由化については、男子生徒の大部分が賛成しているが、難色をしめしている。これと並行して話し合われている生徒総会についても、規約改正を行わなければならない。代議制のままでよいという考えの者も多数いる。また、今回の生徒集会では、本部の任期の終りごろに集会を開いたため、意見の反映がなされないという不満の声も聞かれた。

竹下会長を中心とする後期生徒会本部は、十二月末で任期を終了し、新本部へ委任する。そこで任期満了を前に、公約であった生徒集会の開催について、会長は反省を次のように語っていた「生徒集会は、一部の生徒による本部のつるしあげで終ってしまった。本部に対する建設的意見を多くの生徒が述べてはしかった。公約より小さなものになってしまったが、自分なりに一かき活動したつもりでいる。自分がさえ行なってきたものをうけつぎ、進歩させ大きなものにしていくことを、新本部に期待したい」

解決できぬ問題

代表的なものとして、帽子の自由化の問題がある。これは以前から問題にされ続けていたが、十一月十三日に行なわれた生徒集会で議題にあげられてから、急速にその賛否について話し合いが活発に行なわれるようになった。

帽子自由化に対して学校側からは、現在黙約では着帽が義務づけられており、その規約を守ったうえで自由化を要求するのか本当であるかどうかの確認がない。また、学校との意見のくいちがいがあり、難色をしめしている。生徒総会は、生徒がその時点で抱いている意見や不満を、直接本部が聞くことが主目的であり、規約にもとづいて行なわれる生徒総会についても、規約改正を行わなければならない。代議制のままでよいという考えの者も多数いる。また、今回の生徒集会では、本部の任期の終りごろに集会を開いたため、意見の反映がなされないという不満の声も聞かれた。

求める生徒たちは閉会後も内輪をつくり、意見を交換していた。

生徒集会は、生徒がその時点で抱いている意見や不満を、直接本部が聞くことが主目的であり、規約にもとづいて行なわれる生徒総会についても話し合われている。生徒の中には、男子生徒の大部分が賛成しているが、難色をしめしている学校側の意向を考慮して、帽子の自由化は困難であるという意見もあった。

七月から十二月までの六カ月の間、その任務を遂行してきた本部であるが、未解決されていない多くの問題がある。

制限つき生徒集会
意識高まるか
話し合いの場生かされず

生徒集会が十二月十三日放課後、体育館で開かれた。生徒集会は現在の我校での生徒と執行部との唯一の結びつきであるにもかかわらずこの日の参加者は百名にも満たなかった。議題は生徒、風紀問題と生徒会についてであった。

執行部は、始終緊張気味にしていたようすで、生徒の質問を途中でうち切り、次の議題に移るという状態であった。これに対して、生徒の不満が高まったが、騒ぎは変化が見せず進行された。その後も質疑応答が続けられていたが、閉会の時間になったという理由で生徒のもっと話し合いたいという声も聞かず、会長はその場から出ていってしまった。参加者の大部分はなぜであったのかという話し合いには二年女子が多く参加していたが、話し合いの内容は次のようなものであった。

現在では着帽が義務づけられているが、生徒の意見が反映されない。生徒総会を開くべきだ。

執行部はもっと積極的であるべきだ。

帽子・靴の自由化について、積極的に行動をしてほしい。

四月に生徒会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

文化展が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

解決できぬ問題

帽子自由化に対して学校側からは、現在黙約では着帽が義務づけられており、その規約を守ったうえで自由化を要求するのが本当であるかどうかの確認がない。また、学校との意見のくいちがいがあり、難色をしめしている。代議制のままでよいという考えの者も多数いる。また、今回の生徒集会では、本部の任期の終りごろに集会を開いたため、意見の反映がなされないという不満の声も聞かれた。

制限つき生徒集会
意識高まるか
話し合いの場生かされず

生徒集会が十二月十三日放課後、体育館で開かれた。生徒集会は現在の我校での生徒と執行部との唯一の結びつきであるにもかかわらずこの日の参加者は百名にも満たなかった。議題は生徒、風紀問題と生徒会についてであった。

執行部は、始終緊張気味にしていたようすで、生徒の質問を途中でうち切り、次の議題に移るという状態であった。これに対して、生徒の不満が高まったが、騒ぎは変化が見せず進行された。その後も質疑応答が続けられていたが、閉会の時間になったという理由で生徒のもっと話し合いたいという声も聞かず、会長はその場から出ていってしまった。参加者の大部分はなぜであったのかという話し合いには二年女子が多く参加していたが、話し合いの内容は次のようなものであった。

現在では着帽が義務づけられているが、生徒の意見が反映されない。生徒総会を開くべきだ。

執行部はもっと積極的であるべきだ。

帽子・靴の自由化について、積極的に行動をしてほしい。

四月に生徒会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

文化展が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

生徒集会で意見する生徒

論説

権利をとりもどそう

最近、先生方は生徒が無気力無関心になることをつこうがよい思い生徒間のなかびつきを弱くしようとしているのではないか、と疑問を持たせるようなでき事が多々起きている。

四十四年度生徒会誌「はとう」編集委員が、生徒へのアンケートの内容が決まり顧問を通し校長の認可を得た。翌日、アンケート用紙を印刷中、教頭から「職員会議にかけるから、保留してくれ」という声がかかり、原紙を持っていかれた。その後いつまたっても返事がなく、一ケ月後教師側の答えを要求したが、まったくということでもらえなかった。そしてこのアンケートの問題はそのままの形で残されてしまったのである。内容は、また生徒の特集としての学校生活におけるさまざまな不満意見等を取り上げ掲載しようと一と呼びかけるとうを生こうとした企画が、学校側の顧問によって最初の意図がのがされてしまった。結局「はとう」の特集は、事実たいがけは流れたものを載せることになってしまったのである。

文化展が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

友交の場をつくろうとしたものを認めようとする学校側の動きである。そしてまた、生徒に対して口ごう「君達は奴隷気分でいる。

次に次ぎは問題として、生徒会の開催要求がある。これは自由化問題と並行して、話し合われた。

集会では活発な討論が交わされたが、限定された時間内で結論は出ず、生徒総会開催の正式な解答を聞かず、会長はその場から出ていってしまった。参加者の大部分はなぜであったのかという話し合いには二年女子が多く参加していたが、話し合いの内容は次のようなものであった。

現在では着帽が義務づけられているが、生徒の意見が反映されない。生徒総会を開くべきだ。

執行部はもっと積極的であるべきだ。

帽子・靴の自由化について、積極的に行動をしてほしい。

四月に生徒会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

文化展が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

権利をとりもどそう

友交の場をつくろうとしたものを認めようとする学校側の動きである。そしてまた、生徒に対して口ごう「君達は奴隷気分でいる。

次に次ぎは問題として、生徒会の開催要求がある。これは自由化問題と並行して、話し合われた。

集会では活発な討論が交わされたが、限定された時間内で結論は出ず、生徒総会開催の正式な解答を聞かず、会長はその場から出ていってしまった。参加者の大部分はなぜであったのかという話し合いには二年女子が多く参加していたが、話し合いの内容は次のようなものであった。

現在では着帽が義務づけられているが、生徒の意見が反映されない。生徒総会を開くべきだ。

執行部はもっと積極的であるべきだ。

帽子・靴の自由化について、積極的に行動をしてほしい。

四月に生徒会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会に対する会長の行動について、竹下会長は「あれでは話にならない。もっと活発に活動すべきだ。」と語った。

生徒集会が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

文化展が行なわれた月、二年生の一部の生徒がフォーク集会（革新的なものでなく、集まったものを歌うことになってしまったのである。

試合で得る精神力
バスケみごと第三位に

試合のためにはりきるバスケ

▼男子ハンドボール
十一月二十一・二十二日第十高グラウンドで、男子ハンドボールの県新人戦が行なわれ、本校は惜しくも準決勝で敗れた。試合前の練習、試合の状況とそれを終えての感想を杉本主将は、「試合前は悪るどころか主体として練習を行なってきたが、一週間前は雨のためグラウンドが使えず、十分な練習が出来なかった。当日はコンディションが良く、選手にけがもなかった。ただ一つ、試合に対する気はずが欠けていたと思う。試合を終えてみて、他校は実力以上のものを出していたが、ぼくたちは練習の力を出し尽くせなかったのが残念だった。しかし試合に負けたため、来年試合に勝つためには、どんな練習をしたらよいか、自分たちには何が欠けていたかを選手が自覚したことは、大きな収穫だった思う」と語った。

巣新入戦

▼女子バスケット
一回戦　本校62　37静岡
二回戦　本校67　32浜松西
準決勝　本校48　56城北
第三位決定戦　本校59　39豊
▽男子バスケット
一回戦　本校60　41静岡
二回戦　本校43　35静岡
準決勝　本校53　46浜北
第三位決定戦　本校53　39城北

▼柔道部
十一月二日、浜松校舎で次のスポーツ祭が行なわれ、皆しても二回戦で敗れた。
出場者
神山英臣（2）　河合一雄（2）
水野強志（2）　竹山次郎（2）
中村　裕（2）
結果
一回戦　本校2－1浜北
二回戦　本校0－5浜商
▼陸上部
十一月二日、市営グラウンドでスポーツ祭が行なわれた。
▽やり投げ
第一位内藤久美（5HR）
記録50・1m
▽砲丸投げ
第二位内藤代（3HR）
記録10・07m
▽100m
第一位河合京次先生
記録13・5

試合で得る精神力
バスケみごと第三位に

試合のためにはりきるバスケ

▼男子ハンドボール
十一月二十一・二十二日第十高グラウンドで、男子ハンドボールの県新人戦が行なわれ、本校は惜しくも準決勝で敗れた。試合前の練習、試合の状況とそれを終えての感想を杉本主将は、「試合前は悪るどころか主体として練習を行なってきたが、一週間前は雨のためグラウンドが使えず、十分な練習が出来なかった。当日はコンディションが良く、選手にけがもなかった。ただ一つ、試合に対する気はずが欠けていたと思う。試合を終えてみて、他校は実力以上のものを出していたが、ぼくたちは練習の力を出し尽くせなかったのが残念だった。しかし試合に負けたため、来年試合に勝つためには、どんな練習をしたらよいか、自分たちには何が欠けていたかを選手が自覚したことは、大きな収穫だった思う」と語った。

巣新入戦

▼女子バスケット
一回戦　本校62　37静岡
二回戦　本校67　32浜松西
準決勝　本校48　56城北
第三位決定戦　本校59　39豊
▽男子バスケット
一回戦　本校60－41静岡
二回戦　本校43－35静岡
準決勝　本校53－46浜北
第三位決定戦　本校53－39城北

▼柔道部
十一月二日、浜松校舎でスポーツ祭が行なわれ、皆しても二回戦で敗れた。
出場者
神山英臣（2）　河合一雄（2）
水野強志（2）　竹山次郎（2）
中村　裕（2）
結果
一回戦　本校2－1浜北
二回戦　本校0－5浜商
▼陸上部
十一月二日、市営グラウンドでスポーツ祭が行なわれた。
▽やり投げ
第一位内藤久美（5HR）
記録50・1m
▽砲丸投げ
第二位内藤代（3HR）
記録10・07m
▽100m
第一位河合京次先生
記録13・5

部員同士の交流を
緊張した競技会

さる十一月二十二・二十三日の二日に、文化クラブの交歓親睦・競技会が行なわれた。

▼競技部
十二月二十三日に浜松北校舎

校歌を歌い、友情に涙を流す。

ここで私達は、自分をふりかえってみる必要があるのではないだろうか。

学校側の不当な態度を糾弾しようとする前に、私達は自分の生活態度を反省し、改善しなければならないのではないだろうか。

英語を勉強することだけが学生なのだろうか。けっしてそうではない。

例にも、のべた通り、社会のしくみと生徒会に置きかえ、学校側の不当な態度を糾弾しようとする前に、私達は自分の生活態度を反省し、改善しなければならないのではないだろうか。

英語を勉強することだけが学生なのだろうか。けっしてそうではない。

先生の高校生時代
学生の心を持とう
服装は下駄ばきに鞄

小林先生の高校時代（右下）

今回は、小林先生の高校生時代を お答え願うことにした。

出身校は、愛知県立愛知高校で、学校の雰囲気は、南高校と共通するところが多い。生徒集会も学期一回程度の割合で開かれていたが、進学・就職をテーマにするため、受験ムードが高まってくると、ほとんど開かれなくなるようであった。

服装は、下駄ばきにカバンを肩から掛けた不格好なものだった。

その頃の教師は皆りを持って私たちに接してくれたが、私たちにとってはこわい存在だった。生徒の意見を取り入れる教育ではなかったせいだと思う。しかし、根本的な事柄は徹底的に厳しく表示をしたから、今考えればよかったと思っている。

学生時代は、六人ぐらいの人数で、一緒に勉強したり、遊んだりしていた。

クラブは陸上部に入っていて、顧問の教師は美しい人であったが、けっして美人教師にあこがれて入ったのではない。私は、球を投げる・走る・打つという運動美が大好きだったからである。

私の友人には、あこがれの タイプの人がいたが、人それぞれの特徴があり、学生らしい心を持った良いからいろいろな性格の者と交わることができるのが、おっくうになる。そして例年のように、遠足をするようになる。このようなことでも、強い北風の中をフラフラ！もで予に乗ると、走って来る自転車通学に比べて、バス通学をするうえの態度は、考えてみるべき点が多い▼教える問題の中で、遠信簿にも記録される遠刻について。

遅刻をするのは、直接はバスの遅れであるが、その遅れを出している大きな原因は、いったい何なのであろうか。季節のあたたかい頃に比べて寒くなると第一通りに来る時間が、全体的に遅くなる。初めの二、三本の乗車客が少ないのに比べて、八時以後は人数が多くなって乗車にてまどり学校に着くのが遅れる。そして遅刻になってしまう。こんな事が毎日くりかえされている。このような状態であることは、各個人よく知っているだろう。にもかかわらず、いつもつも遅刻者が多いということは、どういうわけなのだろう。偶然の事故などの場合は、しょうがないにしても、もう少し朝の時間に余裕を持たせればよいのである。遅刻の理由をバス通学委員や運転手にもっていく傾向があるような気がする。

実際、生徒会本部に寄せられる投書からもわかる。遅刻の問題に限らず、不平や不満を持つ人には、その人のそれらの対応する行動が足りないのではないか。遅刻の多い人は自分の生活のようすをふりかえって、今一度考えてみようではないか。目の前に海があり、そして又モックの背もない大自然の中に位置するがゆえに問題も大きい遅刻。ひとりひとり遅刻しないように努力しよう▼下校の時に間違になるのが、一部の三年生の横はいり。毎年のように行なわれていて、二年生の特権であるかのようである。それについてバス通学委員会では、いろいろ対策が考えられた。しかし許容知らずの彼らには何の意味もなさなかった。

このごろでは先生方の手まで借りている。下校時に、先生が玄関の所で監督しているのである。監督というよりも最悪りといった方が適当かもしれない。数多くの策を対処したが、これも個人の自覚それ以前の道徳の問題である。多くの生徒が列を作って並んでいる所を横はいりする店、ひとりやふたりではとてもきない。この時点では決断の弱かったのだ。群集心理とは恐しいものである。早く順番に着く人は早く帰りたいからである。だから早く帰りたい人は早く列に着けばよい。横はいりなど常識はずれも甚しい。彼らは道徳をどのように考えているのだろう。考えの根本である道徳も知らないで、よくも平気で臆して人間をやっていられると思う。とにかく高校で横はいりなどということが問題にされているとはなさけないことではないか▼みなさん、よく聞きましょう。いいですか。バスに乗る時、ちゃんと並んで順序よく乗りましょうネ。横はいりから言えるように、教学を勉強して人間は、私達にふさわしい生活態度を確立し、充実した高校生活が、生涯忘れないような感激を伴う生活を取り戻すことができるのである。

遠州灘

▼寒さが厳しくなるについて朝起きるのが、おっくうになる。そして例年のように、遠刻をするようになる。このようなことでも、強い北風の中をフラフラ！もで予に乗ると、走って来る自転車通学に比べて、バス通学をするうえの態度は、考えてみるべき点が多い▼教える問題の中で、遠信簿にも記録される遠刻について。

遅刻をするのは、直接はバスの遅れであるが、その遅れを出している大きな原因は、いったい何なのであろうか。季節のあたたかい頃に比べて寒くなると第一通りに来る時間が、全体的に遅くなる。初めの二、三本の乗車客が少ないのに比べて、八時以後は人数が多くなって乗車にてまどり学校に着くのが遅れる。そして遅刻になってしまう。こんな事が毎日くりかえされている。このような状態であることは、各個人よく知っているだろう。にもかかわらず、いつもつも遅刻者が多いということは、どういうわけなのだろう。偶然の事故などの場合は、しょうがないにしても、もう少し朝の時間に余裕を持たせればよいのである。遅刻の理由をバス通学委員や運転手にもっていく傾向があるような気がする。

実際、生徒会本部に寄せられる投書からもわかる。遅刻の問題に限らず、不平や不満を持つ人には、その人のそれらの対応する行動が足りないのではないか。遅刻の多い人は自分の生活のようすをふりかえって、今一度考えてみようではないか。目の前に海があり、そして又モックの背もない大自然の中に位置するがゆえに問題も大きい遅刻。ひとりひとり遅刻しないように努力しよう▼下校の時に間違になるのが、一部の三年生の横はいり。毎年のように行なわれていて、二年生の特権であるかのようである。それについてバス通学委員会では、いろいろ対策が考えられた。しかし許容知らずの彼らには何の意味もなさなかった。

このごろでは先生方の手まで借りている。下校時に、先生が玄関の所で監督しているのである。監督というよりも最悪りといった方が適当かもしれない。数多くの策を対処したが、これも個人の自覚それ以前の道徳の問題である。多くの生徒が列を作って並んでいる所を横はいりする店、ひとりやふたりではとてもきない。この時点では決断の弱かったのだ。群集心理とは恐しいものである。早く順番に着く人は早く帰りたいからである。だから早く帰りたい人は早く列に着けばよい。横はいりなど常識はずれも甚しい。彼らは道徳をどのように考えているのだろう。考えの根本である道徳も知らないで、よくも平気で臆して人間をやっていられると思う。とにかく高校で横はいりなどということが問題にされているとはなさけないことではないか▼みなさん、よく聞きましょう。いいですか。バスに乗る時、ちゃんと並んで順序よく乗りましょうネ。横はいりから言えるように、教学を勉強して人間は、私達にふさわしい生活態度を確立し、充実した高校生活が、生涯忘れないような感激を伴う生活を取り戻すことができるのである。

野嶋先生の後任
自由啓発をモットーに

十月一八日から、野嶋先生（尊敬する人にて「利害にまわず、真理のために生きる人」と語っていた。

今後、授業はもちろん、その他いろいろな面で先生と接する機会が大切であり、一人一人考えてほしい。またこの問題はやはり各個人の問題でもあると思う。

この問題についてインタビューしてみた（一部）。

「この問題はやはり各個人の問題でもあると思う。

君たちに望むことは、反応力のある学生らしいなを持ってもらいたいということである。学生らしい心を持ち続けるには、君たち自身の考えに基づくが、学生らしい心を持ち続けるには、君たち自身の考えに基づくが、学生らしい心を持ち続けるには、君たち自身の考えに基づくが、

第八回弁論大会

「無主義強く批判」

小堀さん二年連続優勝

叫ぶ　ヤンキーゴーホーム

昭和四十五年度第八回校内弁論大会が、十一月十八日の五・六時間に本校体育館で行なわれた。はじめに各クラスの代表者が、校内大会の一週間前に、学年別弁論大会で競い合い、四位までの入選者（計十二人）が校内大会に進んだ。基準弁論の後、十二人の弁士によって、弁論が行なわれた。その結果、第一位には、三十九日Bの小堀はづみさん（続「断る」わかってほしい）が選ばれた。本大会の反省として、生徒会本部では「別に反省はないが、今年は思い通りにできたと思う。もし強いてあれば、個別の意見を統括するつもりだった」と語った。また、生徒からは、弁論する時間を制限しない方がよい、など他にも多くの意見が出された。来年は、よりすばらしい弁論大会にしていきたいものである。

第八回校内弁論大会が、十一月一九名（谷崎先生・子安先生）という十八日の五・六時間に本校体育館で行なわれた。

今年の昨年とは同じ形式で行なわれ学年別弁論大会で各学年四名を選出し校内弁論大会に進んだ。大会に対して生徒からは、弁論大会は自分の意見を発表する絶好の機会であるから、時間を制限せずに、自分の意見を思うぞんぶん言わせた方がよい・三無主義を批判するだけに主眼を置いて、多くの場合、その改善策を取り揚げる余裕がなかった・三年生のヤジが多く、会場の雰囲気が良くなかった・三無主義にこだわり過ぎないでもっと自分の周囲にある身近な問題を、取り揚げてほしかった・弁論大会で発表される意見が、近年ややマンネリ化して興味を引くものが少なくなった、など今年は多くの問題を後に残した校内弁論大会であった。

審査基準は、一人につき内容五十点▽発声三十点▽態度二十点の三部門合計百点であった。

審査委員は、生徒六名、先生二十一名の二十七名であった。

南高生に訴える小堀さん（1位）

審査委員が六名とは多すぎるのではないか・審査委員が小数では、どこまで公平な審査ができるのだろうか、という声も聞かれた。審査結果にも不満の声が聞かれた。今後の弁論大会の体質改善が望まれる。

なお、審査基準ならびに順位は次のとおりであった。

一位　三十九日B　小堀はづみ　続「断る」わかってほしい

二位　六百八十点

一位　二十三日B　包坂勝美　南高生を考える

六百二十五点

三位　三十八日B　青島好子　私達

劣る体位体力

進行・記録の仕方に問題残る

種目	男子			女子		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
50m走	7.1	6.9	7.0	8.5	8.4	8.5
(秒)	7.4	7.3	7.2	8.7	8.8	8.7
走り巾とび	436.3	456.8	453.9	323.5	329.3	327.0
(cm)	440.3	453.1	463.2	332.3	328.7	334.2
ハンドボール投げ	26.1	27.8	27.6	15.1	15.5	16.2
(m)	26.9	28.5	29.7	16.5	16.6	17.1
懸垂	8.5	9.3	9.3	15.6	20.2	18.4
(回)	9.1	9.9	10.8	25.8	29.3	31.5
持久走	6'07"7	6'02"6	6'07"6	4'39"8	4'44"6	4'57"1
(分秒)	5'47"8	5'47"6	5'55"8	4'44"1	4'40"6	4'42"1

本校平均と県平均(下段)

十月二十七日から二十九日にかけて学年別にスポーツテストが行なわれた。

これは、県下の中高生を対象に体位体力の増進の経過を調査し、いっそう向上させることを目的としている。県下の運動能力平均は全国平均よりも劣るため、県は特に力を注いでいる。本校は昨年から実施している。

この三日間は、天候コンディションはまずまずであったが、グランドの石があいかわらず多いのが気がかりであった。

このスポーツテストは、各クラスごとに順日移動巡回し、行なっていくわけであるが、総務の引率が悪かったのかもたつく生徒が見受けられた。もっと連絡をゆきわたらせスムーズに行なってもらいたい。

これについて一年生のある生徒は、「五〇m走のとき、自分より遅く走ってきた人と同タイムだった。ストップウォッチが狂っていたのか、押し方が悪かったのかはっきりわからないが納得がいかない。」と語った。また「今後も続けられ、各自の記録として残っていくものである。もっと徹底してやってもらいたい」との声も聞かれた。

秋のスポーツテストは、学年いっせいに行なうために時間的な疑問が起きてきた。春のときのように、体育の時間内で行なうというとである。体育館の先生はこれについて、「静岡県下の中高校がいっせいに行なうことになっているから、春のようにはいかない」と語った。

スポーツテストの結果は、十一月二三日に各クラスに、体力診断テストの結果と共に配布された。

これを見ると、各学年とも全般的に全国・県平均より劣るということがわかる。特に劣っているのは三年男子で、五〇m走のほか全て平均より下回る。各学年男子についていは特久走・ハンドボール投げが、女子については、斜懸垂・ハンドボール投げが、平均より下回る。また去年の本校平均、今年の春実施と平均と比較すると格々に向上しているものの、まだ全国平均より下回っている。

目とりわけにはいかない。

伸び悩んでいるこの原因としては、いろいろあげられるが、その一つに特活体育の中止がある。今後この状態が続くならば、特活体育を再検討する必要があるのではないだろうか。我々の意志に問題がある。やる気がなければ記録も向上しないのである。各自自分の記録を向上させていくために真剣に考えて取り組んでもらいたいものである。

今後も続けられていくスポーツテストである。過行上の問題点、記録の徹底化など、またまた完全ではないが、全国・県平均より劣る種目多少とでもへりし、体位体力の向上が計っていってもらいたいものである。

校内をきれいに

一部の人に任せるな

校内を見まわしてみると、毎日のように、中庭には紙飛行機がちらばっていたり、教室には風船製の屑がころがっていたり、紙クズが落ちていたりする。これではいくら一部の人が「校内美化」に努めてもより効果がでない。

生徒は「校内美化」について一言、某氏「まだ来たのよ来るよ、君達」というを我が心みんなの問題」と考えていたりするだろうか。

某月某日、生徒会本部で「アノー」とドモッて赤ちゃんの名前を聞く。この時わたに漢字がわからなかったのネ。そしたら近くの国語の先生の「ケタケタ笑うんだもん。わたしたへん泣けて来ちゃった。体重が増こうとする、じわじわと顔が赤くなる。だって〆赤ちゃんの子だったもんネ。

某月某日、運動クラブのインタビューに行く。外は風がピューピュー吹いて寒そうだったので同じクラスの人に「×子さん○○の試合の成績うんだった」なんて聞いたのだ。私って悪いネー。

某月某日、生徒会室へ行く。

某月某日、赤ちゃん誕生の記事のため松下先生のところへ行く。「赤ちゃんのことを聞きに来ました」と言うと、横にいた某氏「赤ちゃんは、話せないヨン」といったのだ。私の耳がよく〆ますがおかしいのかな。

某月某日、生徒会室へ行く。

某氏に生徒集会についてのように感じかについてを聞いたのだ。そしたら某氏いわく「言葉はだな、聞くということは一人前だがな、書くことはナッチョラン」といったのだ。私の耳がよく〆ますがおかしいのかな。

使用不可能になったものは、この庫は十五台となった。

これまでに何回となく新しいものと交換を行なってきたが、どうしても故障が原についてしまった。

そこで、職業のちがうかい、五十部を購入し補給したが、それでも三十三台が振り分けられ、任意に持ち帰ったために全員に行きわたらない。自分の意見をみんなに聞いてもらいたいことと考えてもらいたいことを選んで発表しようではないか。

まだけっしてすばらしいとはいえない弁論大会。今年の弁論大会を反省し、来年はより前進するように努力しよう。

東パ莫大な被害

我校も募金運動行なう

生徒会本部が、サイクロンに襲われ、約十七万人という人たちの生命を奪われた東パキスタンへの援助金として、十月一七日から二十八日までの五日間、募金を行なった。

この募金に対してある男子生徒から本部へ「募金そのものは悪いことではないが、我々学生がこのような募金運動に参加するのはどうかと思う」という意見が出たが会全の話によると「生徒の中で善意のある人たちが、個人でお金を集めるのは絶好の機会である。我が高で個人の意見が生徒会員に反映されることが一年に一度のこの大会である。したがって、積極的に参加するのである。

生徒の声

なくそう三無主義

生徒会への不満多し

今回から〝黄信コーナー〟に変わり、学校・生徒会などについての不満、また困っていることを今回から〝黄信コーナー〟に変わり、学校・生徒会などについての不満、また困っていることを

〝生徒の声〟として載せることになった。

各学年、普通科・商業科、一クラスずつ各教室に調べた結果、次のようなことがあげられた。これらのうち、もっとも多かったものを二つずつあげてもらった。

問　バスの横入り、無賃、靴音などについては、校内の美化対策として、福岡自転車に清掃区域の責任を負わせる。悪いところ、気づいた点などを次に、その紙を担当の先生に渡すということをしている。これによって、一部のクラスでは清掃態度がよくなっているという問題は、生徒の自覚しだいだろう。まわりのゴミを拾うだけでよい。一分もかからないんでやろうということがわかれば、自分たちの手でやれるはずだ。

問　「校内美化」の関心の低さについて、どうすればよいか。

答　この問題は、最終的に代議委員会で多数決によって決まるのだから、学年討論会や学級で話し合ってもらって全体の意見をまとめた。また自治化にした場合、風紀が乱れないか、校則は守られるか。

問　風紀が乱れている現在、これではなにもならない。これらをなくすためには、代議委員会がもっと強くならなければならない。そのためには、生徒も自治に協力してほしいものだ。

問　学校内にもっと木を。

答　前期で予算を決めてしまうため、現在あまっている予算がないだが進んで木を植えてくれるのはおおいに歓迎する。

問　クラブの数が少なすぎるのでもっと増してほしい。

答　クラブを二つ造るにも、多くの資金がかかる。（野球部などは特に）それに部室がない、運動場が狭すぎるなどのいろいろな問題がでてくる。それに現在は、プールの建設に資金がかかる。暫時は設立されてからまもないので、すぐにはできない。何年か後には、だんだんとクラブの数も増していくだろう。

問　パンの販売のとき、とても混雑しているのでなんとかしてほしい。

答　保健委員会に出た方法を、業者側と話し合い、よりよく改善していく。

混み合うパン販売

職業知識を豊富に

工場見学行なわれる

十月二三日テスト終了後、二一クラスの色・柄分・染について、織物の説明を受けた。つぎに労務課長さんから、最近の人は職業先が豊富になり、仕事場をおろそかに見ている、という注意をうけた。そのあとシームレス工場・仕上工場・製品検査見学した。中でも目をひいたのが仕上工場での、星型の編機に編み上がりのシームレスをかぶせ、熱を加えてプレスする作業であった。

工場見学の感想として、あまり勉強にならなかった・とうせ見学するのなら、もう少し時間をかけて見学したかった、という希望があった。

職員室だより

海の中へドブーン

◇十二月二日、文化の日のこと。釣りの好きな先生方が集って恒例のA級ハゼ釣りに、でかけた。メンバーは教頭先生をはじめ各口、中村久保の「ミ」の字のつく釣り天狗の先生方、それに土尾、水貝、横井の各先生方であった。特に昨年は各口指南役であった。久保先生の竿の中に立っているそぶりはないか。残念ながら、下事（日本校職員）の御厚意で、弁慶岩の裏側で成績したミカンのリンゴのでて見物座底に達する迄釣りを続ける以外方法はなかったのこと。ついでながら当日大物賞、大釣賞をいただいた。先生の説明による指に独り占めしてしまったのもはじめ「ツィテティ」としょげていた当の久保先生であった。

◇今年もまたミカンの季節となった。昨年の暮田先生の皮膚が金黄色つたことがあってね。皆かれ肝臓じゃないか、やれ黄たんじゃないかとあまり職員室のうわさが高くなったので、私が医者に行くようにすすめたんだよ。暮田先生はすっかりしょげかえって心配しながら病院に行ったら、それがミカンの食べすぎだとわかって近くに居た看護婦さん達にまで大笑いされたそうだよ」

説明を聞いた暮田先生「ヘエー、そんなにミカン好きだったのかね。じゃあまたまた結構は先の話だね。未完たもの」

◇十二月二日、文化の日のこと。釣りの好きな先生方が集って恒例のA級ハゼ釣りに、でかけた。メンバーは教頭先生をはじめ各口、中村久保の「ミ」の字のつく釣り天狗の先生方、それに土尾、水貝、横井の各先生方であった。特に昨年は各口指南役であった。久保先生の竿の中に立っているそぶりはないか。残念ながら、下事（日本校職員）の御厚意で、弁慶岩の裏側で成績したミカンのリンゴのでて見物座底に達する迄釣りを続ける以外方法はなかったのこと。ついでながら当日大物賞、大釣賞をいただいた。先生の説明による指に独り占めしてしまったのもはじめ「ツィテティ」としょげていた当の久保先生であった。

◇今年もまたミカンの季節となった。昨年の暮田先生の皮膚が金黄色つたことがあってね。皆かれ肝臓じゃないか、やれ黄たんじゃないかとあまり職員室のうわさが高くなったので、私が医者に行くようにすすめたんだよ。暮田先生はすっかりしょげかえって心配しながら病院に行ったら、それがミカンの食べすぎだとわかって近くに居た看護婦さん達にまで大笑いされたそうだよ」

説明を聞いた暮田先生「ヘエー、そんなにミカン好きだったのかね。じゃあまたまた結構は先の話だね。未完たもの」

編集後記

いす・机の破損目立つ

きらわれる一本足

現在我校では、全教室でスチール製のいす、机を使用しているが最近これらの破損が目立って増えている。

創立時、サイズの調整、選択に便利・安価である、などの理由で、他校に先がけて、全教室にスチール製いす・机を設置したわけだが、この新製品に対する生徒からの批判はきびしいようである。

「木製のものより重いのでは……」「われやすい」などが破損の原因が多い。

ひと口にスチール製といっても二種類あり、その中でも脚もちろん、二本足のものである。

今後も続けられていくスポーツテストである。過行上の問題点、記録の徹底化など、またまた完全ではないが、全国・県平均より劣る種目多少とでもへりし、体位体力の向上が計っていってもらいたいものである。

編集後記

よかった鑑賞態度

クラウス氏の演奏会

一年音楽科選択クラスが、十月二十六日市立高校講堂において、ドイツ人ピアニストで、現在世界各国を演奏旅行している。主にベートーベンの曲を演じている。日本は十二番目。

一時から始める予定であったのが、クラウス氏の到着が遅れたため約二十分経過後に始められた。

その間たいへん騒がしかったが、演奏中はすごく静かであった。

帰ってこのような鑑賞態度でのぞんでもらいたい。約一時間の鑑賞後全員回教で解散した。

RK オーディオセンター
ステレオ SP・BOX
アンプ・デッキ・プレヤー
RK ソニーショップ
ソニー全製品
RK 商会
エレクトロニックス・パーワ他

レコード・楽器・ステレオ
<音楽教室> ギター・ドラム・ピアノ・オルガン・琴
音のハイショップ イケヤ
本店（有楽街） 52-5151　鍛冶町店 53-5550
遠鉄名店ビル店 53-7814　袋井店 2-2529

スキー
スポーツ用品は
アオヤマスポーツ
浜松市肴町141の2
TEL 52—9148

大学入試に
わが家のつもりで勉強できる
受験生用客室
日本交通公社
浜松営業所 TEL53—2111

南高校制服専門店
ユニチカ
（旧ニチボー・日レ合同会社）
◉注文制服専門
長袖ブラウス
夏服
夏用純毛ポーラースカート（プリーツ加工）
純毛サージ
静岡県代理店 栗林株式会社
浜松市下池川町TEL(71)7295
<信愛高校入口>

《靴の専門店》
当学校女子靴指定店
流行とセンスの
アツミヤへどうぞ
アツミヤ靴店
（遠鉄名店ビル南 電話53-0645）

御通学には指定制服で
女子冬指定服
〃 夏スカート
〃 冬トッパー
男子制服詰エリ
生地毛純毛日毛カシドス地
〃 ギャバ地
御調整
特約店 大森洋服店
浜松市佐藤町 TEL㊀3288